

この法人は、社会福祉施設等に対する自動ドア設備を設置する事業を行い、地域と社会の福祉の増進を図り、自動ドアの普及推進活動を通じて広く公益に貢献することを目的としています。

特定非営利活動に係わる事業として次の事業を行います。

- (1)福祉施設利用者の為の自動ドア設置事業
- (2)地球温暖化対策の為の自動ドア普及推進事業
- (3)自動ドアに係わる基準整備事業
- (4)自動ドアに係わる資格認定推進事業
- (5)自動ドアに係わる防火性能評価事業
- (6)公衆衛生の為の自動ドア普及推進事業

会員募集

当会は、この活動に賛同する会員を募集しています。

入会金	正会員(団体)	¥120,000
	正会員(個人)	¥20,000
年会費	賛助会員(団体)	¥50,000
	賛助会員(個人)	¥10,000
	正会員(団体)	¥120,000
	正会員(個人)	¥60,000
	賛助会員(団体)	¥60,000
	賛助会員(個人)	¥30,000



特定非営利活動法人 全国自動ドア産業振興会

〒165-0031
東京都中野区上鷲宮 3丁目 16番 5号
日本自動ドア株式会社 2号館 3階
理事長 吉原 利美
電話: 03-3998-3077
FAX: 03-3998-3121
Email: jadsa@jadsa.or.jp
URL: <http://www.jadsa.or.jp/>

特定非営利活動法人 全国自動ドア 産業振興会

自動ドア産業に携わる人々が集まり、
協働して社会に貢献します。



人にやさしい暮らしのためにいま、
「自動ドア」ができること。

ちょっと想像してみてください。
もし、自分が車椅子に乗っていたら…。もし、子どもを抱いて手がふさがっていたら…。
あなたがみだん何気なく使っている自動ドアがなんだかとても頼もしく思えてきませんが、
これからのバリアフリーを考えるうえで自動ドアは最も身近なひとつの「答え」です。

自動ドア化の3つのメリット



NPO法人 全国自動ドア産業振興会
<http://www.jadsa.or.jp>

福祉施設利用者の為の自動ドア設置事業

自動ドアでバリアフリーな街づくり

障がい者、車いす利用者、ベビーカーを利用する人達に優しい街づくりを推進します。自動ドアはお年寄り、子ども、障がい者など分け隔てなく利用できる優れたユニバーサルデザイン商品ですが、建物の中には自動ドア化されておらず通行が困難なところも見受けられます。当振興会は会員の貴重な会費を財源として、自動ドア装置を寄付することで、障がい者や車いす利用者、ベビーカーを利用する人はもとより、全ての人々が安心して快適に暮らせる街づくりの実現に寄与していくことが出来ればと考えています。

地球温暖化対策の為の自動ドア普及推進事業

エアコン使用中は、ドアを閉めよう

地球温暖化防止対策として、温室効果ガスの25%削減が目標として掲げられています。当振興会は、エアコン稼働中ドアを開けたままと、自動ドア装置を使ってでも閉めた場合の電力量の消費を調査しました。その結果、夏場は30%以上、冬場は50%以上の節電効果があることがわかりました。これは自動ドア装置の素晴らしい省エネ性能によるものです。例えば年間70万回以上動く、24時間営業のコンビニエンスストアの自動ドア装置の電気代は年間¥2,000もかかりません。エアコン稼働中は、自動ドアを有効に使ってドアを閉めましょう。手動でもドアは閉められますが、自動ドアは、障がい者や車いす利用者、ベビーカーを利用する人達に優しいバリアフリー商品です。有効に使ってください。



自動ドアに係わる基準整備事業

安全な自動ドアの提供

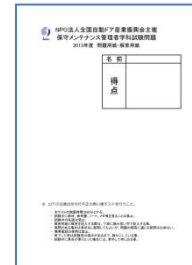
国内では200万台の自動ドアが稼働していると云われていますが、設置場所や用途に応じて自動ドアの種類も多様化してきました。この多様化した自動ドアの安全対策が求められており、当会では消費者保護を重要課題と位置づけて、自動ドアの種類ごとに安全基準を策定し、その遵守徹底を働きかけていきます。



自動ドアに係わる資格認定推進事業

目指そう！保守メンテナンス管理者

自動ドアの安全機能が上がっても、施工や保守が疎かでは、安全機能を十分に発揮できないばかりか、危険源となることさえあります。当振興会では、多様化した自動ドアに応じて消費者の安全な通行を確保するために必要な知識と技能を持ったエンジニアを育成することを目的として技能基準を策定し、その技能基準を満たしたエンジニアに任意資格を付与することで職業能力の開発を促します。



自動ドアに係わる防火性能評価事業

確かな防火性能のために

自動ドアは建物の開口部や仕切りとして設置されることが多く、延焼防止のための防火性能を要求されることがあります。自動ドア装置にも特定防火設備、防火設備用の副構成材として防火性能を要求されます。当振興会では、自動ドアの防火性能について調査研究し、基準作りをはじめ知見を活かした活動をしています。



公衆衛生の為の自動ドアの自動ドア普及推進事業

ドアノブからの接触感染を防ぎましょう

自動ドアは手を使わずに、異なった環境との往来が出来ます。このことからドアノブを介した感染の危険を防ぐことが出来ます。自動ドアを有効に使って、接触感染を防ぎましょう。また、多機能トイレに設置されている自動ドアの機能、押しボタンの形状について調査した結果、多機能トイレ自動ドアの仕様について知らない人が多いことがわかりました。また、利用者がトラブルに遭遇したり、様々な人が利用できることから、利用者による奪い合いがあることなどもわかりました。当振興会は誰もが使いやすい多機能トイレ自動ドアの姿を求めています。



写真提供：BEA ジャパン㈱ オプテックス㈱ 竹中エンジニアリング㈱